

仕 様 書

件名：ツチクジラ剥製標本維持管理

概要：

全長 9.45m×奥行 2.5m×高 2.0mのツチクジラ剥製標本の維持管理を行う。

当該ツチクジラ剥製標本は、陸前高田市海と貝のミュージアムのシンボルとして位置づけられていた標本であるが、東日本大震災により被災した。鯨類の剥製標本としては日本最大で、大型標本であり、かつ脆弱であることから、国立科学博物館および岩手県立博物館を中心に、平成 23 年度には、国立科学博物館つくば資料庫に移送され直接被災によって生じた損傷部の修復作業が行われた。平成 24 年度には、標本自体の経年損傷の手当と改修後の維持管理を行っており、本 25 年度もこれを継続しなければならない。また、維持管理を請け負っている国立科学博物館では、当該標本の収蔵場所の変更を計画しており、今年度中に想定される新収蔵施設への当該標本の移動と維持管理が本年度の業務内容となる。

1. 履行期間

契約締結日～平成 26 年 3 月 25 日

2. 作業内容

① 燻蒸

保管場所における燻蒸作業。標本単体を包んで燻蒸する。
各種害虫とカビの駆除のため燻蒸を履行期間中に 2 回行う。

② 定期観察及び清掃

定期観察及び当該標本の清掃を履行期間中に 2 回行う。必要に応じて薬剤による拭き取り作業等を行う。

③ 標本移動

当該標本の現在の仮収納場所（国立科学博物館自然史標本棟 1F）には、すでに多数の標本が収蔵されているため、国立科学博物館筑波地区内に新設する収蔵施設に当該標本を移動する。

留意事項

- ① 作業工程の写真撮影を行い提出すること。(プリントアウトしたものとDVDで提出すること。)
- ② 燻蒸・点検・清掃の実施状況報告
現保管場所(国立科学博物館つくば資料庫 1F)及び新収蔵施設内における害虫・カビ駆除ガス燻蒸施工などの作業の際には作業報告施工状況を書類提出し確認をとること。
- ③ 当館担当者による作業完了時検収の際に生じた是正事項については、すみやかに対処すること。

3. 補則

この仕様書に定めのない事項については、必要に応じ別途協議のうえ定めるものとする。